

第4回農作物病虫害防除フォーラム開催要領

1 開催趣旨

食料の安全性や環境問題への国民の関心が高まる中で、環境保全型農業を全国的に推進していくことが重要な課題となっている。特に、農作物に発生する病虫害の防除においては、農薬使用の節減等による環境に対する負荷軽減を図っていくことが必要となっているが、この実施にあたっての現場の意向調査では、「発生予察による適期防除の徹底」が中心となっており、我々関係者に対しての期待がますます高まっていると考えられる。

このような社会的課題に対して、農林水産省及び都道府県で実施している発生予察事業では、「適時適切な病虫害防除」を実施する目的で発生時期及び量に加え、要防除水準、薬剤抵抗性、適用農薬の種類など総合的な情報提供を推進してきたところである。しかしながら、この基になる病虫害の発生予察及び防除に関する技術情報は、各都道府県の病虫害防除所、農業試験場などで多くの開発の試みがなされ成果を上げているにもかかわらず、どこへ問い合わせれば入手できるのかと戸惑うこともあり、その成果の普及は地域内に限られていることが多い。

このため、従来都道府県の指導機関レベルを対象に開催していた発生予察及び防除に関する成績発表会を発展させ、実用的な発生予察及び防除方法の成果、先進的な取組など、現場で活用が期待されるこれら新技術を中心に紹介し、現場で実際に防除指導に携わっている農業者団体等から研究者まで幅広い関係者を対象に意見交換を行うフォーラムを開催することとし、今後の発生予察事業及び現場での防除の取り組みに反映させるものとする。

2 開催日時

平成10年6月4日（木） 13:30～17:00

3 開催場所

農林水産省講堂（本館7階）

4 参集範囲

都道府県の本庁、病虫害防除所、農業試験場、地方農政局、国の研究者、植物防疫所、中央民間団体、農薬メーカー、農業者団体等

5 議 題

- | | |
|--|-------------|
| (1) パソコンを利用した「いもち病」の発生予察 ～JPPネットのサービスを利用して～ 福島県農業試験場 中島 敏彦 氏 | 13:40～14:10 |
| (2) 集合フェロモンを利用した果樹カメムシ類の発生予察 農林水産省果樹試験場 足立 礎 氏 | 14:10～14:40 |
| (3) JPPネットを利用した農薬登録情報の活用 福島県病虫害防除所 佐藤 力郎 氏 | 14:40～15:10 |
| (4) 薬剤抵抗性アブラムシ類の発生予察と防除法 広島県農業技術センター 細田 昭男 氏 | 15:20～16:00 |
| (5) 病虫害侵入警戒調査とその対応 農林水産省植物防疫所 渡久地 章男 末吉 澄隆 | 16:00～16:30 |
| (6) 総合討論 | 16:30～17:00 |